



教育宮崎市

※ 令和6年度より、電子版のみでの発行となります



秋号の表紙は
市制100周年記念グローバルチャレンジ支援事業に
おけるシンガポールでの活動の様子です



CONTENTS

- 01 教育委員会の取組
- 02 新ALTの紹介
- 03 市内の学校紹介
- 04 教育委員コラム



学園木花台小学校の授業の様子



宮崎東中学校の取組



市制100周年記念！シンガポール派遣を実施！



英語によるコミュニケーション能力の育成や、世界の異なる文化や価値観、考え方にふれながら、グローバルな視点で自分や地域の課題を考えることを通して豊かな国際感覚の醸成を図ることを目的に、中学生10名をシンガポールに派遣しました。

シンガポールの語学学校では、中国やロシアの学生とともに、話すことなどのアウトプット中心の授業を受け、とても刺激を受けたようです。

また、現地の歴史・文化・施設などについてアクティビティを通して学びました。シンガポールは多民族国家であるため、中国やマレーシア、インドの文化にも触れることができ、貴重な経験をすることができました。将来、派遣生徒が積極的に世界にチャレンジすることを期待しています。



(問) 企画総務課 0985-85-1857

新ALTの紹介

02

本年度、宮崎市に着任した
新しいALT（外国語指導助手）を
紹介します♪

- ①氏名
- ②出身地
- ③趣味・特技
- ④担当学校



- ①VO TIFFANY
ヴォーティファニー
- ②アメリカ
- ③ハイキング、読書
ひとり旅
- ④宮崎西中、西池小、小戸小



- ①PASION VICTORIA
パーシオン ヴィクトリア
- ②フィリピン
- ③彫刻、旅行、描画
- ④大宮中、大宮小、池内小



- ①SUMMERS TYLER
サマーズ タイラー
- ②オーストラリア
- ③日本語の勉強
ジムで体を鍛える
美術館巡り
- ④田野中、田野小、七野小



- ①CHAMBERLAIN ALEXANDER
チャンバーレイン アレクサンダー
- ②イギリス
- ③ハイキング、水泳
登山、映画鑑賞、読書
- ④大淀中、大淀小、古城小



- ①KARADI SAIKIRAN
カラディ サイキラン
- ②イギリス
- ③世界中を旅する事
バドミントン
(宮崎でもプレイしたい!!)
- ④住吉中、住吉小、住吉南小



- ①MANTO LEE
マントー リー
- ②カナダ
- ③ブラジリアン柔術
野生動物の写真撮影
- ④青島中、青島小、内海小



- ①KRUPL CHRISTOPHER
クルップル クリストファー
- ②カナダ
- ③スキー、ロッククライミング
誰かを笑わせる事
- ④檍中、檍小、檍北小



日本語指導教室
での
授業の様子



学園木花台小学校

学園木花台小学校
ホームページ▶



帰国・外国人児童に対する学習支援について

本校の特色の一つに日本語指導が挙げられます。本校には、日本語指導が必要な外国人児童が15名在籍（令和6年9月時点）しており、国籍や文化や宗教も様々です。また、児童一人ひとりの日本滞在期間や日本語能力もそれぞれ異なります。

授業は、外国人児童のみが日本語教育指導教員から日本語指導教室で学ぶ形態と、日本語教育サポーターの支援を受け、同じ学級の児童と一緒に学ぶ形態があります。

これからも日本語指導が必要な児童が、安心して学校生活を送れ、学習活動に参加できるよう、きめ細かな支援を行っていきたいと考えています。

日本語教育
サポーターによる
支援



宮崎東中学校

宮崎東中学校
ホームページ▶



汗を出そう 声を出そう 知恵を出そう 我が東中

本校には、生徒会訓のモニュメントがあります。そこにある、自分の考えをもち、よいものを創り出そうという精神は、脈々と受け継がれています。

例えば本年度は、中央東地区民生委員・児童委員協議会の「ふれあいラジオ体操」で本校生徒が模範演技を行いました。それだけに留まらず、出席カードやスタンプ作りなど、+αの活動をするのが本校生徒会のよさです。

また、「心礼」という言葉が息づいています。ノーチャイムで心の鈴を鳴らして自ら行動、登下校時にお礼を込めて校舎に「一礼」です。そのような伝統を受け継ぎ、新たな挑戦をする学校です。

生徒会訓の
モニュメント



ふれあい
ラジオ体操での
模範演技の様子



ふれあいの教育

恩師との出会い

小学5年生の時の出来事です。廊下の水槽で泳ぐ金魚の観察を終えて着席した私たちに、理科専科の先生が質問されました。

「金魚を正面から見たらどんな形だったかな？」

発表が苦手だった私は、ただおもむろに、両手の指先を付けてティアドロップ（水滴）の形を作っていました。



教育委員
小林 博典

先生はその一瞬を捉え、「小林くん、みんなに見せて！」と勢いよく声をかけてくださったのです。クラスメイトが注目する中、私は緊張しながら立ち上がり、その形を掲げてみました。先生は「わかりやすいね！」と大きな声で褒めてくださり、友だちの共感の声も響きました。

私はこの時の喜びが克明に胸に刻まれ、理科が大好きになり、大学で生物学を専攻し、理科の教師になりました。

「ふれあい」に彩られた日常

私は現在、大学の教育学部で教鞭を執っています。学生には、「教育の不易」として、児童生徒との「ふれあい」を大切にしてほしいと伝えています。教師のさりげない言葉は、子どもたちの自己効力感にも影響を与えることがあります。学校訪問で授業参観をする機会も多いのですが、宮崎市の教育実践には素晴らしい取組がいくつもあり、些細な場面の中にも、心のこもった指導が数多く行われています。

「ふれあい」に彩られた豊かな日常を広く共有する場として、今後も「教育宮崎市」の広報活動に期待しています。